

保育活動+在宅取組型(こども園)

学校名等	秋桜こども園(海津市)
実施日時	6月28日(月)~7月2日(金)・7月
会場	秋桜こども園・各家庭
参加人数	2・3・4・5歳児19人とその保護者
学習課題(分野)	こども園の菜園で作った野菜で収穫、売り出し、調理体験をしよう あったかいきずないっぱいカードにチャレンジ (基本的な生活習慣・自立心・挨拶及び礼儀・家族の大切さ)
運営者の願い	<ul style="list-style-type: none"> ・食農体験。野菜を大切に育て料理になるまでを学ぶ。 ・調理体験では家庭で親子が最も会話をするとと思われる夕食をの時間を想定した。いつもよりも会話やふれあいが増え、親子のきずなが深まることを願った。

学習の内容

<取組の内容>

- 園内活動
 - ・年長児が中心となり園児皆で夏野菜を育てた。
 - ・収穫した野菜でお店屋さんを開き、売り出し・買い物体験。
(お金の代わりにする野菜引換券は年長児が準備)
 - ・買った野菜と園で準備したカレー粉を持ち帰った。

○ 在宅取組

園での出来事に触れながら持ち帰った野菜と一緒に調理したり、お手伝いをしたりして親子で夕食を楽しむ。

- ・園内活動内容を手紙にて保護者にお知らせする。
- ・各家庭で持ち帰った野菜でカレーを作り、家族で食べる。
(野菜を食べる以外は特に決まり事は設けず、各家庭に任せた。)

○ あったかいきずないっぱいカード(あいさつ・お手伝い・なんでも食べる)

野菜を持ち帰った日あたりの期間にあったかきずなカードを配布し、「あいさつ、お手伝い、なんでも食べる」にチャレンジ。お手伝いは、親子で相談して決めたり、子どもが進んでしてくれることに褒め言葉をかけたりするなど、各家庭様子や子どもの成長に合わせて取り組んでもらう。



<おうちのひとからお子さんへのことば>

- ・これからももりもり食べて、お手伝いもよろしくね。
- ・ごはんのお手伝い、たくさんしてくれてありがとう!おかげでとてもおいしいご飯がくれたよ。
- ・いつも元気にお手伝いをしにきてくれてありがとう。好きな食べ物の時は大喜びしてくれてありがとう。苦手な食べ物の時も「一口は食べてみるわ」と言って挑戦してみがすごいね。
- ・ママ、ばあばのお手伝いをしてくれてありがとう。いっぱい食べて元気になってね。
- ・「あーおいしかった」と毎日言ってくれたね。これからももりもり食べてね。

<保護者の感想>

- (5歳児)・引換券を持って先生のお店でピーマンとカレールーを買ったと嬉しそうに話してくれました。早速カレーを作り、ピーマンの種を取るところをやってくれました。「このカレーおいすぎる」「パパがおいしい」といってくれたところがめちゃくちゃうれしい」と言って喜んでいました。良い経験ができました。
- ・言われなくても食べ終わったお皿を流し台まで運ぶ姿に感動しました。取り組みをすることで子どもの良さをさらに感じる事ができよかったです。
- (4歳児)・自分から前に出て「手を合わせて下さい、いただきます」と言って、お当番活動をして楽しく取り組む姿に成長を感じることができました。
- (3歳児)・カレー作りをお手伝いしてくれました。やけどに気を付けながら野菜やお肉を炒めてくれました。とても楽しそうでした。家族みんなにナスを紹介していました。嬉しそうでした。
- ・「ごはんおいしかった」と自然に伝えてくれるようになりました。自分でお片付けする姿がかわいかったです。お手伝いも楽しくやっていました。
- (2歳児)・毎日色を塗るのが楽しみで、食べる前に声を掛けると、「がんばる」と言って食べる姿がみられた。

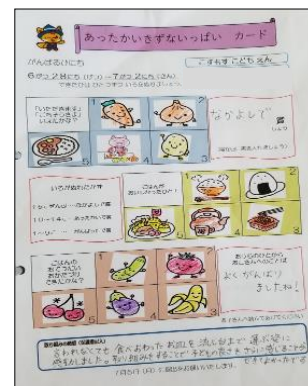
<取組の成果>

- ・野菜を持ち帰ったことで、話題ができ家族の会話につながり、ふれあいのきっかけになった。
- ・どの保護者さんもあいさつ・お手伝い・なんでも食べるを通して、保護者が子どもに寄り添って取り組んでいたが、愛情の深さを感じた。いつまでも続くように今回のような取組を発信していきたい。



取組カードの工夫

食農体験の取組に合わせて、「あったかいきずないっぱいカード」に取り組みました。あいさつ・お手伝い・何でも食べるという内容で、園児が楽しくチャレンジしたくなるように、カードを工夫しました。



【取組カード】



在宅取組の充実

夏野菜の種類や出来によって収穫できる日や量の違い、収穫のない日もありましたが、「あったかいきずないっぱいカード」の在宅取組と組み合わせることで継続的な取組となりました。



愛情を伝える

お家の人からお子さんへのことばを記入してもらいました。どの家庭のことばからも母親としての愛情を感じ、これが子どもたちに伝わってほしいと考え、急きょおうちのひとからお子さんへのことばを賞状のことばにして一人ひとりに渡しました。